



参天製薬株式会社

2009年度 決算説明会

2009年度 連結業績概要
2010年度 連結業績予想

2010年5月12日

代表取締役社長兼CEO

黒川 明



2009年度 連結業績概要



2009年度 決算概況

(単位:億円)	2008年度 実績	2009年度 実績	対前年 同期 増減率	2009年度 通期 業績予想*	対予想 進捗率
売上高	1,016.1	1,105.9	8.8%	1,135.0	97.4%
営業利益	154.9	296.4	91.3%	290.0	102.2%
経常利益	159.3	298.6	87.4%	290.0	103.0%
当期純利益	101.2	187.2	84.9%	180.0	104.0%

*業績予想: 2009年11月10日付

2009年度実績のポイント

売上高

- 国内： 緑内障、角膜疾患において伸長
 - 緑内障： 新製品タプロスが順調に浸透
 - 角膜疾患： 主力品ヒアレインが堅調に推移
- 海外： 欧州・中国事業が伸長
 - 欧州： タフルプロストが順調に浸透
 - 中国： 自販体制の順調な立ち上がり
 - その他： 技術導出契約に関連する一時金収入等の寄与

営業利益

- 一時金収入による増益
- 販売費： 適正な経理管理による費用圧縮
- 研究開発費： 一部、プロジェクトの遅延等による予算未消化

2009年度
売上高の増減要因 (対前年同期比較)

**2008年度
 実績売上高
 1,016.1億円**

+89.8億円

**2009年度
 実績売上高
 1,105.9億円**

国内: +9.6億円

- + 医療用眼科薬 +3.1億円
- + 抗リウマチ +1.3億円
- + 一般用医薬品 +0.1億円
- + 医療機器 +3.4億円

海外: +80.1億円

- + 欧州 +4.0億円
 (うち為替 ▲10.3億円)
- + 北米 +57.7億円
 (うち為替 ▲4.1億円)
- + アジア +18.2億円
 (うち為替 ▲3.7億円)
 うち中国 +14.2億円
 (うち為替 ▲2.2億円)
 うち韓国 +2.4億円
 (うち為替 ▲1.0億円)

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲ 9.2億円
- + 角膜 + 4.8億円
- + 緑内障 +23.7億円
 (うちタプロス + 36.2億円)
- + アレルギー ▲ 11.9億円
- + その他 ▲ 4.2億円

欧州

- + 医療用眼科薬 + 3.7億円
 (うち西欧 + 4.0億円
 (うちドイツ + 4.2億円)
 うち東欧 + 0.4億円
 うち北欧 ▲ 1.0億円
 うちロシア + 0.3億円)

<為替レート>	2008年度 実績	2009年度 実績
US\$	100.81円	92.79円
Euro	146.71円	131.12円
中国元	14.86円	13.70円

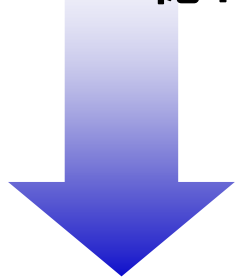


2009年度

売上高の増減要因 (対業績予想比較)

**2009年度
予想売上高***
1,135.0億円

▲29.0億円



**2009年度
実績売上高**
1,105.9億円

国内: ▲32.6億円

- + 医療用眼科薬 ▲23.4億円
- + 抗リウマチ ▲0.8億円
- + 一般用医薬品 ▲3.3億円
- + 医療機器 ▲3.7億円

海外: +3.6億円

- + 欧州 + 2.1億円
(うち為替 + 0.7億円)
- + 北米 + 3.2億円
(うち為替 ▲0.6億円)
- + アジア ▲1.6億円
 - うち中国 ▲3.9億円
 - (うち為替 ▲1.4億円)
 - うち韓国 + 1.5億円

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲4.6億円
- + 角膜 ▲1.7億円
- + 緑内障 ▲3.0億円
(うち夕° 1.3億円)
- + アルギン ▲6.6億円
- + その他 ▲7.3億円

欧州

- + 医療用眼科薬 + 0.7億円
 - うち西欧 + 4.0億円
(うちドイツ + 3.4億円)
 - うち東欧 ▲2.7億円
 - うち北欧 + 0.1億円
 - うちロシア ▲0.6億円

<為替レート>	2009年度 予想	2009年度 実績
US\$	100.00円	92.79円
Euro	130.00円	131.12円
中国元	14.50円	13.70円

*業績予想: 2009年11月10日付



損益計算書の要約差異(対前年同期比較)

(単位:億円)	2008年度	2009年度		
	実績	実績	増減	主な増減要因
売上高	1,016.1	1,105.9	89.8	
売上原価 (対売上高比率)	359.4 35.4%	347.1 31.4%	▲12.3 ▲4.0pt	品目構成の変化の影響 製造固定費減少の影響 技術導出収入の影響
販売費・一般管理費 (対売上高比率)	501.7 49.4%	462.4 41.8%	▲39.3 ▲7.6pt	
研究開発費を除く販管費 (対売上高比率)	317.1 31.2%	321.2 29.0%	4.1 ▲2.2pt	アジア販売費増加
研究開発費 (対売上高比率)	184.5 18.2%	141.2 12.8%	▲43.3 ▲5.4pt	08年度 DE-109導入費用 53億円
営業利益 (対売上高比率)	154.9 15.2%	296.4 26.8%	141.5 11.6pt	
営業外収益	14.3	8.4	▲5.9	
営業外費用	9.8	6.2	▲3.6	
経常利益	159.3	298.6	139.3	
特別利益	0.1	0.7	0.6	
特別損失	1.2	13.2	12.0	減損損失、その他
税引前当期純利益	158.2	286.1	127.9	
法人税等	57.0	98.8	41.8	
当期純利益	101.2	187.2	86.0	

<為替レート>
 2008年度実績 2009年度実績
 US\$ 100.81円 US\$ 92.79円
 Euro 146.71円 Euro 131.12円
 中国元 14.86円 中国元 13.70円



2010年度 連結業績予想

2010年度 連結予想概況

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度 業績予想	対前年 増減率
売上高	1,105.9	1,085.0	▲1.9%
営業利益	296.4	263.0	▲11.3%
経常利益	298.6	270.0	▲9.6%
当期純利益	187.2	175.0	▲6.5%
ROE	14.3%	12.3%	▲2.0pt

2010年度 業績予想のポイント

タプロスおよび新製品による成長

海外事業による貢献

売上原価・販管費は適正に抑制

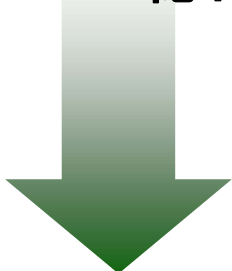


2010年度

売上高の増減要因(対前年同期比較)

**2009年度
実績売上高
1,105.9億円**

▲20.9億円



**2010年度
予想売上高
1,085.0億円**

国内 + 11.7億円

- + 医療用眼科薬 + 1.7億円
- + 抗リウマチ ▲ 3.8億円
- + 一般用医薬品 + 1.2億円
- + 医療機器 + 9.9億円

海外 ▲ 32.6億円

- + 欧州 + 6.0億円
(うち為替 ▲ 4.5億円)
- + 北米 ▲ 51.1億円
(うち為替 ▲ 0.5億円)
- + アジア + 12.3億円
(うち為替 ▲ 1.1億円)
- うち中国 +12.3億円
(うち為替 ▲1.1億円)
- うち韓国 + 0.5億円
(うち為替 ▲0.2億円)

国内医療用眼科薬

- + 抗菌 ▲5.1億円
- + 角膜 +3.5億円
- + 緑内障 +14.5億円
(うち7° 凹 +35.4億円)
- + アルギン ▲0.0億円
- + その他 ▲11.2億円

欧州

- 医療用眼科薬 +9.3億円
- うち西欧 +5.8億円
(うちドイツ +6.4億円)
- うち東欧 +3.7億円
- うち北欧 ▲0.2億円

<為替レート>

	2009年度 実績	2010年度 予想
US\$	92.79円	90.00円
Euro	131.12円	125.00円
中国元	13.70円	13.30円

2010年度 連結業績予想

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度	
		予想	増減
売上高	1,105.9	1,085.0	▲20.9
売上原価	347.1	350.0	2.9
(対売上高比率)	31.4%	32.3 %	0.9 pt
販売費・一般管理費	462.4	472.0	9.6
(対売上高比率)	41.8%	43.5 %	1.7 pt
研究開発費を除く販管費	321.2	331.0	9.8
(対売上高比率)	29.0%	30.5 %	1.5 pt
研究開発費	141.2	141.0	▲0.2
(対売上高比率)	12.8%	13.0 %	0.2 pt
営業利益	296.4	263.0	▲33.4
(対売上高比率)	26.8%	24.2 %	▲2.6 pt
営業外損益	2.2	7.0	4.8
経常利益	298.6	270.0	▲28.6
特別損益	▲12.5	0.0	12.5
税引前当期純利益	286.1	270.0	▲16.1
法人税等	98.8	95.0	▲3.8
当期純利益	187.2	175.0	▲12.2
ROE	14.3%	12.3%	▲2.0pt

<為替レート>
2009年度実績

US\$ 92.79円
Euro 131.12円
中国元 13.70円

2010年度予想

US\$ 90.00円
Euro 125.00円
中国元 13.30円



参考資料
2009年度連結業績概要



販売部門別売上高および海外売上高

■ 販売部門別 売上高

(単位:億円)	2009年度 実績					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	826.9	0.5%	143.5	17.0%	970.4	2.7%
眼科薬	726.6	0.4%	142.0	17.1%	868.6	2.8%
抗リウマチ薬	97.7	1.4%	1.3	26.7%	99.0	1.7%
その他医薬品	2.5	▲8.1%	0.1	▲39.5%	2.7	▲11.2%
一般用医薬品	52.3	0.3%	0.1	179.9%	52.5	0.5%
医療機器	9.6	54.8%	—	—	9.6	54.8%
その他	6.9	36.5%	66.3	816.6%	73.2	494.7%
合計	895.8	1.1%	210.0	61.6%	1,105.9	8.8%

■ 海外売上高

(単位:億円)	2008年度 実績	2009年度 実績		
		実績	増減額	増減率
欧州	83.1	87.1	4.0	4.9%
北米	9.3	67.1	57.7	615.9%
アジア	37.4	55.7	18.2	48.8%
その他	0.0	0.0	0.0	67.5%
合計	129.9	210.0	80.1	61.6%

所在地別セグメント情報

■ 外部売上高

(単位:億円)	2008年度 実績	2009年度	
		実績	増減額
日本	914.0	974.0	60.0
欧州	94.5	97.8	3.3
その他 ※	7.6	33.9	26.3
合計	1,016.1	1,105.9	89.8

■ 営業利益

(単位:億円)	2008年度 実績	2009年度	
		実績	増減額
日本	182.8	309.9	127.1
欧州	1.7	7.5	5.8
その他 ※	▲6.6	4.5	11.1
消去又は全社	▲23.0	▲25.6	▲2.6
合計	154.9	296.4	141.5

※その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国です

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります



貸借対照表

(単位:億円)	2009年3月末		2010年3月末		
	実績	構成比	実績	構成比	増減額
流動資産	1,010.5	66.9 %	1,188.3	71.2 %	177.8
固定資産	499.5	33.1 %	480.4	28.8 %	▲19.1
繰延資産	-	-	-	-	-
資産合計	1,510.1	100.0 %	1,668.7	100.0 %	158.6
流動負債	224.3	14.9 %	252.8	15.2 %	28.5
固定負債	32.0	2.1 %	39.8	2.4 %	7.8
負債合計	256.4	17.0 %	292.7	17.5 %	36.3
純資産合計	1,253.6	83.0 %	1,376.0	82.5 %	122.4
負債純資産合計	1,510.1	100.0 %	1,668.7	100.0 %	158.6

【主要変動科目】

- ◆流動資産：現金及び預金+196億円、受取手形及び売掛金▲7億円、有価証券▲24億円、商品および製品+10億円、仕掛品+4億円
- ◆固定資産：建物及び構築物▲12億円、機械装置及び運搬具▲4億円、土地▲3億円、無形固定資産▲3億円、投資有価証券+4億円、繰延税金資産+3億円
- ◆流動負債：支払手形及び買掛金▲4億円、未払金+5億円、未払法人税等+25億円
- ◆固定負債：退職給付引当金+5億円
- ◆純資産：利益剰余金+119億円、その他有価証券評価差額金+4億円

キャッシュフロー計算書 要約

(単位:億円)	2009年度 実績
現金等期首残高	459.5
現金等 増減額	183.9
営業活動によるキャッシュ・フロー	261.1
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲8.2
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲67.5
現金等に係る換算差額	▲1.3
現金等期末残高	643.4

(注) 上記「現金等」には現金同等物を含んでいるため、貸借対照表の現金及び預金とは一致しません

設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)	2008年度 実績	2009年度	
		実績	増減額
設備投資額	27.4	12.2	▲15.2
減価償却費	33.9	32.0	▲1.9
リース料	9.3	5.2	▲4.1



参考資料
2010年度通期連結業績予想



連結業績予想中期比較

(単位: 億円)	2006年度 実績	2007年度 実績	2008年度 実績	2009年度 実績	2010年度 業績予想
売上高	1,004.8	1,033.9	1,016.1	1,105.9	1,085.0
営業利益	204.1	203.7	154.9	296.4	263.0
経常利益	208.4	207.0	159.3	298.6	270.0
当期純利益	131.4	126.5	101.2	187.2	175.0
ROE	10.6%	9.9%	8.0%	14.3%	12.3%

販売部門別 売上高/海外売上高予想

✦ 販売部門別 売上高

(単位: 億円)	2010年度					
	国内		海外		合計	
	売上高	増減率	売上高	増減率	売上高	増減率
医療用医薬品	824.9	▲0.2%	163.3	13.8%	988.3	1.9%
眼科薬	728.4	0.2%	161.9	14.0%	890.3	2.5%
抗リウマチ薬	93.9	▲3.9%	1.2	▲7.1%	95.1	▲3.9%
その他医薬品	2.6	2.6%	0.1	▲30.7%	2.7	0.3%
一般用医薬品	53.6	2.4%	0.0	▲53.7%	53.6	2.2%
医療機器	19.5	102.6%	—	—	19.5	102.6%
その他	9.5	37.0%	14.0	▲78.9%	23.5	▲67.8%
合計	907.5	1.3%	177.4	▲15.5%	1,085.0	▲1.9%

✦ 海外売上高

(単位: 億円)	2009年度 実績	2010年度		
		予想	増減額	増減率
欧州	87.1	93.2	6.0	7.0%
北米	67.1	16.0	▲51.1	▲76.2%
アジア	55.7	68.1	12.3	22.3%
その他	0.0	0.1	0.1	177.3%
合計	210.0	177.4	▲32.6	▲15.5%

所在地別セグメント情報

■ 売上高

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度	
		予想	増減額
日本	974.0	928.5	▲45.5
欧州	97.8	101.8	4.0
その他 ※	33.9	54.7	20.8
合計	1,105.9	1,085.0	▲20.9

■ 営業利益

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度	
		予想	増減額
日本	309.9	273.1	▲36.8
欧州	7.5	7.3	▲0.2
その他 ※	4.5	11.6	7.1
消去又は全社	▲25.6	▲29.0	▲3.4
合計	296.4	263.0	▲33.4

※ その他地域はアメリカ、中国、台湾、韓国であり、主な売上高と費用は下記の通りです
 売上高：台湾および韓国の医療用医薬品、費用：米国の医療機器の研究開発費

(注) 海外売上高(仕向地別売上高)と区分は異なります



設備投資額/減価償却費/リース料

(単位:億円)	2009年度 実績	2010年度	
		予想	増減額
設備投資額	12.2	27.9	15.7
減価償却費	32.0	30.6	▲1.4
リース料	5.2	1.9	▲3.3

■ 設備投資 2010年度 主要項目

- 生産関連 14.7億円
- 研究関連 3.6億円
- その他 9.6億円



参考資料
国内医療用眼科薬市場概況

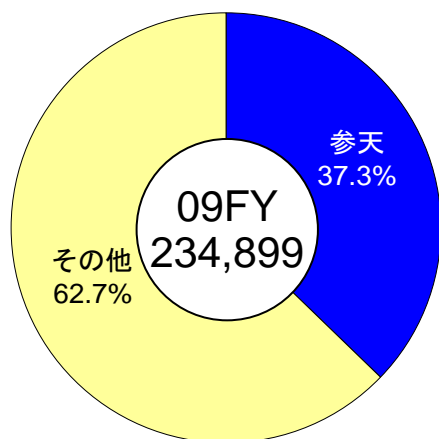


国内医療用医薬品：市場概況(眼科計・緑内障・角膜)

- ・眼科計：09FYの市場規模は対前年+3.5%。網膜領域急成長の中、参天はシェア37.3%確保。
- ・緑内障：参天はタプロスが寄与し市場のペースを上回る伸長。シェアは23.0%。
- ・角膜：市場は対前年+3.9%と堅調。参天は市場シェアをほぼ維持し77.1%。

市場規模: 百万円
%: 金額ベース

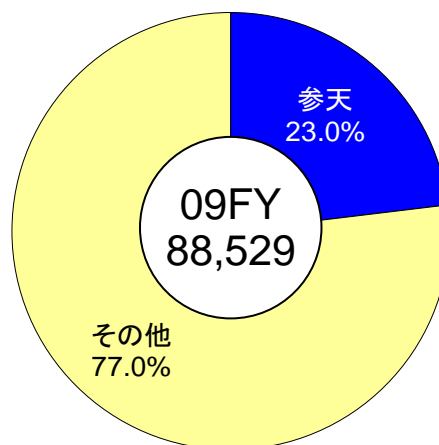
眼科薬計



08FY 09FY

(金額) 前年比	市場	+2.6%	+3.5%
	参天	+0.3%	+1.7%
参天シェア		38.0%	37.3%

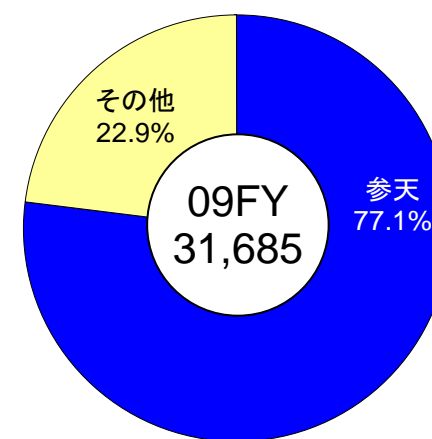
抗緑内障剤



08FY 09FY

市場	+2.2%	+4.1%
参天	-0.4%	+18.4%
参天シェア	20.3%	23.0%

角膜疾患治療剤



08FY 09FY

市場	+5.7%	+3.9%
参天	+4.4%	+3.0%
参天シェア	77.7%	77.1%

- 主な参天製品:
- ・抗緑内障剤: タプロス、チモプトール/XE、レスキュラ、デタントール
- ・角膜疾患治療剤: ヒアレイン

出典: ©2010 IMS Japan
IMS-JPM 2008-10を基に参天分析
無断転載禁止

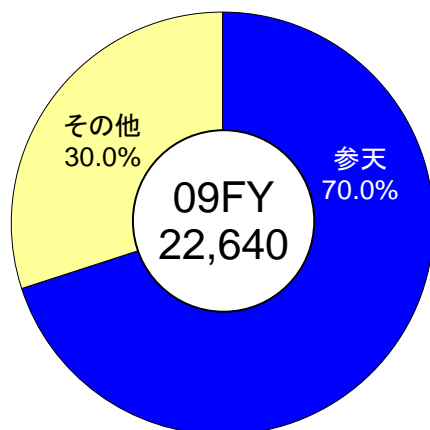


国内医療用医薬品：市場概況(抗菌・アレルギー)

- ・抗菌：09FYの市場規模は対前年-4.4%と減少。患者一人あたりの平均処方期間が短縮傾向。
- ・抗アレルギー：参天は市場の成長ペースを下回っている。競合品の伸長傾向が続く。

市場規模: 百万円
%: 金額ベース

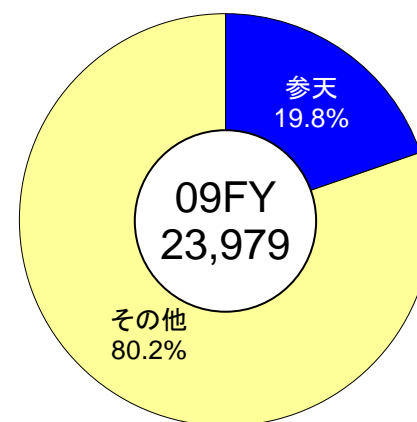
抗菌点眼剤



08FY 09FY

(金額) 前年比	市場	-3.1%	-4.4%
	参天	-5.0%	-5.6%
参天シェア		70.9%	70.0%

抗アレルギー剤



08FY 09FY

	市場	+11.0%	-15.0%
	参天	+2.3%	-19.7%
	参天シェア	21.0%	19.8%

-主な参天製品:

- ・抗菌点眼剤: クラビット、タリビッド
- ・抗アレルギー剤: リボスチン、アレギサール

出典: ©2010 IMS Japan
IMS-JPM 2008-10を基に参天分析
無断転載禁止



参天製薬株式会社

2009年度 決算説明会

新製品開発の現状

2010年5月12日

取締役 常務執行役員 研究開発本部長

西畑 利明

主要臨床プロジェクト状況一覧 (赤字部分: 09FY3Q発表時からの変更点)

グローバル戦略品 グローバル品 日本(アジア)品

疾患領域	フェーズ1	フェーズ2	フェーズ3	申請	承認
緑内障		DE-104 ROCK阻害剤	中国	DE-085 タフルプロスト	日本・欧州(上市) 香港・韓国(上市)
		DE-090 塩酸ロメリジン			
角膜疾患		DE-101 米国 リボグリタゾン 日本	中国	DE-089 ジクアホソルナトリウム	日本(承認)
		DE-105 ペプチド組合せ剤			
網膜疾患		DE-109 シロリムス			
		DE-102 ステロイドDDS			
その他 眼感染症 アレルギー リウマチ		DE-110 SEGRA		DE-108 レボフロキサシン (高濃度)	
		DE-098 抗APO-1抗体			

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-085 緑内障・高眼圧症（一般名：タフルプロスト）

販売名：日本「タプロス」、他の参天地域「TAFLOTAN」、米メルク社*「SAFLUTAN」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/2発表時)	
日本	上市 (2008年12月～)	上市 (2008年12月～)	承認時期 (2008年10月)
欧州	上市(2008年6月～) 26カ国で承認**	上市 (2008年6月～)	承認時期 (2008年4月～)
アジア	香港：上市(3/4) 韓国：上市(5/1) 中国：P3	韓国：承認 中国：P3	韓国：承認時期 (2009年6月)
米国	米メルク社*に販売権をライセンスアウト(2009年4月)		

【上市国】世界合計：15カ国

- ・参天：日本、アジア2カ国(香港、韓国)、
欧州10カ国(ドイツ、デンマーク、フィンランド、スウェーデン、ノルウェー、ポーランド、アイスランド、ラトビア、グルジア、チェコ)
- ・米メルク社*：欧州2カ国(イギリス、スペイン)

*米メルク社への販売権ライセンスアウト(2009年4月)：許諾地域はドイツを除く西欧、北米、南米、アフリカ

**上市国／CIS諸国を含む

主要臨床プロジェクトの現状

■DE-089 ドライアイ 販売名：日本「ジクアス」

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/2発表時)	
日本	製造販売承認 取得(4/16)	製造販売承認 申請中	一般名： ジクアホソルナトリウム 日本：申請時期 (2008年5月)
アジア	中国：P3	中国：P3	

主要臨床プロジェクトの現状 －緑内障・高眼圧症－

■DE-090

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/2発表時)	
日本	P2	P2	一般名:塩酸ロメリジン

■DE-104

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/2発表時)	
米国	P1/P2	P1/P2	ROCK阻害剤
日本	P2	P2	



主要臨床プロジェクトの現状 – 角結膜疾患(ドライアイを含む) –

■DE-101 角結膜上皮障害(ドライアイを含む)

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/2発表時)	
米国	P1/2*	P1/2*準備中	一般名:リボグリタゾン
日本	P2b	P2b	

*高用量製剤を追加したパイロットP2b試験

■DE-105 遷延性角膜上皮欠損

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/2発表時)	
米国	P2準備中	P2準備中	ペプチド組合せ剤
日本	P2	P2	

主要臨床プロジェクトの現状 —網膜疾患—

■DE-102 糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/2発表時)	
日本	P1/P2	P1/P2	ステロイドDDS

■DE-109* 滲出型加齢黄斑変性、糖尿病黄斑浮腫

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/2発表時)	
日本	P1/P2	P1/P2	一般名:シロリムス

*MacuSight社より導入。日本を含むアジアでの眼科領域の開発・販売権を保有。

主要臨床プロジェクトの現状 –その他–

■DE-108 外眼部感染症

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/2発表時)	
日本	製造販売承認申請(2/10)	申請準備中	高濃度レボフロキサシン

■DE-110 アレルギー性結膜炎

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/2発表時)	
米国	P1	P1	選択的グルココルチコイド受容体作動薬(SEGRA)

■DE-098 関節リウマチ

地域	開発段階		備考
	今回	前回(2/2発表時)	
日本	P1/P2	P1/P2	抗APO-1抗体
欧州	P1/P2	P1/P2	



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward looking statements)を含みます。これら見通しを実現できるかどうかは様々なリスクや不確実性などに左右されます。従って、実際の業績はこれらの見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。
- 日本ならびにその他各国政府による医療保険制度や薬価等の医療行政に関する規制が変更された場合や、金利、為替の変動により、業績や財政状態に影響を受ける可能性があります。
- 新薬の研究開発から承認・発売まで非常に長期間を要し、開発中止、承認申請後の不許可など不確実性を多く含みます。新製品に関わる見通しは、他社との開発・販売提携等を前提とするものが含まれており、こうした提携の成否は当社の業績や財務状況に影響を与える可能性があります。
- 現在発売している主要製品や将来発売が予定されている大型新薬が、万が一特許失効、製品の欠陥、予期せぬ副作用などの要因により、販売中止となったり、売上が大幅に減少した場合、業績や財政状態に大きな影響を及ぼします。また、当社が販売している製品の多くは、他社から製造販売権、ならびに販売権を供与されていますが、契約期間満了後、契約条件の変更や、販売提携の解消などが起こった場合、業績に影響を及ぼします。
- 原材料の中には供給を特定の取引先に依存しているものがありますが、何らかの要因によりこうした原材料の供給が停止した場合や、これに起因して当社の製品の供給が滞った場合、業績に悪影響を及ぼす可能性があります。